

令和3年度経営発達支援計画 事業報告会 実施報告

1. 日 時：令和4年8月3日（水） 11時00分～11時45分
2. 場 所：恵庭商工会議所 2階税務研修室
3. 出席者：恵庭市役所 経済部 部長 江川 美樹 氏
主査 小井 裕介 氏
星槎道都大学 准教授 石山 玄幸 氏
日本政策金融公庫 札幌支店 国民生活事業
融資第三課 上席課長代理 鈴木 紘一郎 氏
恵庭商工会議所 菅原専務理事、梅根事務局長、薬袋次長、栗林主幹、周防係長、
新田主査 計10名
4. 協議事項：令和3年度経営発達支援計画の実績と評価について
事務局より、経営発達支援計画の概要並びに当初計画、令和3年度の取組み、
実績について説明。その後出席者より事業に対する評価並びに意見を伺った。
5. 評 価：外部出席者平均評価

項 目	事業評価
1. 地域の経済動向調査に関する事	B
2. 需要動向調査に関する事	C
3. 経営状況の分析に関する事	A
4. 事業計画策定支援に関する事	B
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	B
7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	B
8. 経営指導員等の支援能力の向上の仕組み	A
9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	A
10. 地域経済の活性化に資する取組に関する事	B

【評価の目安】 A：十分達成している B：概ね達成している C：半分程度しか達成できていない
D：ほとんど達成できていない

6. コメント：
 - ・感染防止対策を行いながらの支援が必要。市としても引き続きサポートをしていきたい。
 - ・コロナ禍の中であるが評価できる。引き続き中小企業の支援を期待する。
 - ・公庫としては毎月の定例相談会の他、指導員の方々への研修会等、積極的に関与さ

せていただきます。

- コロナ禍で行動規制が長引いた中で、手法を探りながら支援を行ってきたことは評価に値すると考える。
- 恵庭市は大企業と小規模企業が混在している地域であり、様々な支援が必要。また、域内循環が必要。
- 公庫は毎日30件程度の相談があり、その内約5件が創業の案件、7～8割がコロナ融資再申込の案件が多い。公庫としては会社継続が一番、リスケの相談は乗る姿勢で統一を図っている。